

NEW

## 生産現場における現場改善手法

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C22	2019年10月2日(水)、3日(木)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓、ノート			

## 講習内容

工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性の向上に向けた生産現場に発生する問題点の分析や改善のための手法及び生産効率を向上させるため現場改善(作業改善)の技法を習得する。

## 主な内容

- 生産現場の作業改善
  - ・作業改善(作業研究)の体系
  - ・改善の手順
  - ・標準時間の設定の実習
- 生産現場の環境改善
  - ・職場環境改善の体系
  - ・5S定着の仕組み
  - ・見える化:目で見える現場
- 生産現場の工程改善
  - ・ものの流れからの改善・PQ分析と工程経路図分析と流れ化改善・運搬の効率化
  - ・切替・段取り改善
  - ・ラインバランス分析と改善
  - ・セル生産化改善(多工程待ち改善)・多品種少量生産への改善
- 作業分析手法と改善効果測定
  - 改善効果測定(生産性・リードタイム・稼働率・不良率・ロス工数低減)
- 実践的課題演習
  - ・受講者の現場での作業分析と改善検討
  - ・発表
- まとめ・質疑応答

標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理  
～標準時間の活用と現場教育の実践応用～

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C23	2019年10月10日(木)、11日(金)	千葉キャンパス	10名	9,500円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(ルート機能付き)、定規(約15cm以上)、鉛筆またはシャープペン、消しゴム			

## 講習内容

作業標準の必要性和標準化への具体的な現場での取り組みを学びながら、標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理を習得します。また、標準時間と作業標準との関連及び国際規格と作業標準書との関係へと発展させながら、総合的に知り、総合実習を通じて、実際に受講者の現場の作業標準書を作成します。

## 主な内容

- 作業標準とは(必要性和目的、標準化と横展開の関係、作業が標準化されないとうなるのか?)
- 作業標準書とは(作業標準書の様式、書き方、使い方)
- 標準時間と現場(標準作業可能現場とは?標準時間と作業標準書との関係)
- 国際規格と作業標準書(国際規格と作業標準書との関係等)
- 作業標準書の管理(変更管理の必要性、変更管理が出来て居ないとどうなるのか?)
- 作業
- 総合演習(総合実習、受講者の現場での作業標準書を作成する実習と発表会)
- まとめ・質疑応答

## 標準時間の設定と活用 ～効果的な原価低減活動に繋げる～

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C24	2019年6月25日(火)、26日(水)	千葉キャンパス	10名	9,500円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(ルート機能付き)、定規(約15cm以上)、鉛筆またはシャープペン、消しゴム			

### 講習内容

標準時間の概要、IEの知識と標準時間の設定方法、統計的な時間資料の扱い方、余裕率の設定方法、作業分解の方法、ビデオ機器使用によるシモグラム作成方法と活用方法、PTS法のご紹介及びPTS法が使用出来ない工程での標準時間の設定方法を習得します。一連の手法と受講生の企業の生産活動の管理状況の段階別に対応した時間管理手法のアドバイスを行います。科学的手法による生産管理現場の実際を、IEの手法と人間性、人間工学と安全、品質と生産性の観点から併せて、IE技術者としての的確に業務をこなすポイントを習得します。

### 主な内容

- 標準時間の概要、標準時間に必要なIEの知識(標準時間の設定法)  
標準時間資料の作成(統計時間資料の考え方、余裕率の設定方法)
- 標準時間設定のビデオ演習(旋盤作業のビデオ実習による作業分解をする一単位作業から要素作業、要素作業から動作へ、レーティング、規定値による標準時間設定・PTS法)
- 標準時間の応用(業務に合わせた生産管理レベルの適正化、工数・設備効率管理、標準原価管理での活用)
- まとめ・質疑応答

NEW

## 実験計画法を活用した生産プロセスと品質の改善

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C25	2019年11月28日(木)、29日(金)	千葉キャンパス	10名	9,500円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(ルート機能付き)			

### 講習内容

工場における生産工程の効率化・最適化を目指して、生産プロセスの改善と製品の品質向上のため、実験計画法による効果的な実験の計画と実践的なデータ解析手法について習得します。統計的事前準備から、直行配列表を活用した実験計画法の活用まで、各コース内容においての実習確認を通して、段階的に理論を積み上げながら習得します。

### 主な内容

- 実験計画法
- 一元配置実験、二元配置実験(繰返し有り、無し)
- 誤差、プーリング処理、最高水準に於ける推定と予測
- 直行配列表の活用
- 総合実習課題、発表会、まとめ

## 製造業に活かす品質管理技法

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C26-1	2019年7月18日(木)、19日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
C26-2	2019年11月21日(木)、22日(金)		15名	8,000円(税込)
日数	2日間(14時間)			
時間	9:00~17:00(7時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓、ノート			

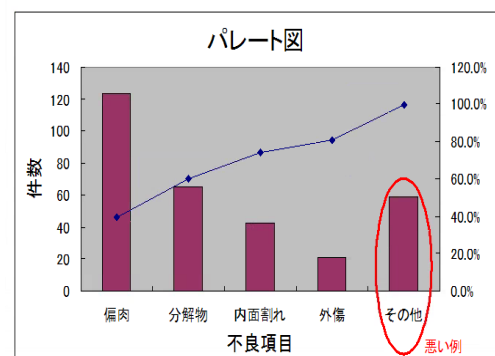
### 講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた製造現場で活用できる品質管理手法を習得する。

### 主な内容

- 製造業における品質管理の技法
  - ・データの取り方・まとめ方
  - ・相関分析による生産状態の解析
  - ・不良障害要因を追及するための手法
  - ・計量値・計数値の検定と推定
- 製造業における品質保証の方法
  - QC工程表の作成、製造工程管理表の作成
  - 作業工程重視の品質保証
- 生産現場における管理手法の活用実習
  - 受講者自身が担当する生産ラインの品質管理手法の適応
- まとめ

下記は、パレート図の一例です。



実習イメージ

NEW

## 原価管理からみた生産性向上

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C27	2019年11月6日(水)、7日(木)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓、ノート			

### 講習内容

原価管理/在庫管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた原価管理をコスト(費用削減)と生産性(業務効率向上)の2軸でとらえ、企業収益力向上のポイントを習得する。

### 主な内容

- 原価管理とは
  - ・原価の3要素(演習含む)
  - ・原価で工程を管理する(演習含む)
  - ・標準原価と設定方法(演習含む)
  - ・直接費と間接費(演習含む)
  - ・材料費と労務費と経費(演習含む)
  - ・チャージレート(作業者と設備)
  - ・間接費の配布基準(演習含む)
  - ・実際原価と標準原価の差異分析(演習含む)
- コストを下げる視点
  - ・材料費、労務費、経費をどう下げていくか
- 生産性を上げる視点
  - 材料費、労務費、経費削減と生産性の関連
- まとめ: 演習を通じたコスト削減と生産性向上策のまとめ(演習含む)
  - 改善策のアクションプランの作成(演習含む)

## 5Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に役立つ)

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C28-1	2019年7月4日(木)、5日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
C28-2	2019年10月10日(木)、11日(金)		15名	8,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓、ノート			

### 講習内容

製造現場の5S改善や現場力の強化をめざして、生産現場で発生する問題の分析・改善技法を習得します。

### 主な内容

- コース概要及び留意事項  
生産現場の構造
- 5S推進による現場の改善
  - ・5Sの定義と生産性向上の繋がり
  - ・現場改善事例の紹介
  - ・5S改善演習 ・5Sと見える化の関係
- ムダ取りの実践による現場改善  
ムダの定義と生産性向上の繋がり、事例紹介  
・事例紹介、ムダ取りの効率的な進め方
- 5S改善演習、ムダ取り演習他  
5S改善とムダ取りをセットにして、定着化を図る
- まとめ



実習イメージ

## 生産システムのキャッシュフローによる採算性評価

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C29	2019年6月27日(木)、28日(金)	千葉キャンパス	12名	10,000円(税込)
日数	2日間(14時間)			
時間	9:00~17:00(7時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓、ノート			

### 講習内容

製品の生産工程の効率化・最適化を目指して、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストですばやく対応するために、製造資源の有効配分や生産システムについて、採算性の観点から企業の改善活動を評価する方法について習得します。

### 主な内容

- キャッシュフロー(お金の流れ)とは
- 生産システムの費用と収益をキャッシュフローに注目して比較・評価する方法
- 利益の拡大を主眼として損得計算と埋没原価、失敗コストの考え方
- 投資の優先順位は採算性(利益)か、回収期間か
- 多くの候補案を条件に応じた判断指標で、使い分け(独立案・排反案・混合案)する方法
- 投資決定のための評価に不可欠な資金の時間的価値という考え方

